

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

南港南中	学校	生徒数	67
------	----	-----	----

平均値

2年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	27.00	25.44	41.40	48.44		74.65	8.39	183.57	19.73	38.68
大阪市	28.65	26.89	43.47	51.80	425.49	80.14	8.06	195.02	20.28	41.69
全国	28.95	26.09	45.12	51.64	409.25	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
女子	21.60	22.40	46.32	45.21		48.88	9.14	161.08	13.48	45.45
大阪市	23.12	22.70	46.32	46.59	318.64	53.12	9.03	166.76	12.20	48.14
全国	23.15	21.70	46.99	45.74	309.66	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

結果の概要

本校2年生の新体力テスト平均値を大阪市および全国平均と比較すると、男女ともに多くの種目で市・全国平均を下回る結果となった。男子では、握力(27.00kg)、上体起こし(25.44回)、長座体前屈(41.40cm)、反復横とび(48.44回)、20mシャトルラン(74.65回)、50m走(8.39秒)、立ち幅とび(183.57cm)、ハンドボール投げ(19.73m)、体力合計点(38.68点)のいずれも大阪市・全国平均を下回っている。特に持久力や瞬発力を示す20mシャトルラン、立ち幅とび、体力合計点で差が見られ、基礎的体力の底上げが課題であると考えられる。女子においても同様に、握力(21.60kg)、上体起こし(22.40回)、反復横とび(45.21回)、20mシャトルラン(48.88回)、50m走(9.14秒)、立ち幅とび(161.08cm)、ハンドボール投げ(13.48m)、体力合計点(45.45点)で市・全国平均を下回る傾向が見られた。一方、長座体前屈(46.32cm)は大阪市平均と同程度であり、柔軟性は比較的良好である。

総じて、本校2年生は男女ともに筋力・持久力・瞬発力の面で課題が見られる一方、女子の柔軟性は一定水準を維持している。今後は授業や日常活動を通して基礎体力の向上、とりわけ持久力と下肢筋力の強化を重点課題として取り組む必要がある。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度の中学2年生の新体力テストの結果は、男子・女子それぞれの実態が明確に表れている。体力合計点は男子38.68点、女子45.45点であった。男子は大阪市(41.69点)・全国(42.20点)を下回り、基礎的な体力の向上が課題である。女子も大阪市(48.14点)・全国(47.58点)より低い結果であり、全体的な底上げが必要である。一方で、女子は柔軟性(長座体前屈46.32cm)など全国平均と同程度の種目もあり、日頃の取組の成果も見られる。

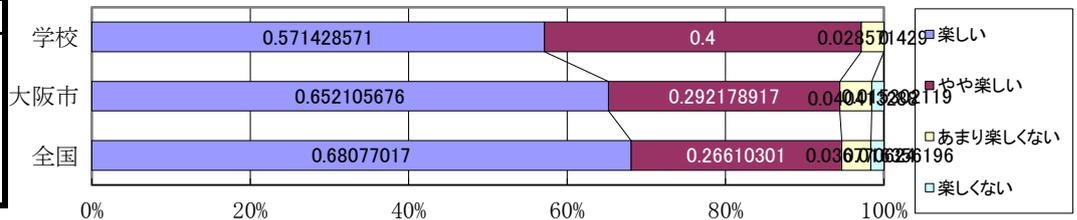
「運動やスポーツが好き」と肯定的に答えた割合は、男子85.7%、女子80.8%であった。女子は大阪市・全国を上回っており、運動への前向きな意識が育っていることは大きな成果である。男子は数値自体は高いものの、市や全国を下回っており、意欲をさらに高める取組が求められる。また、1週間の総運動時間が60分未満の生徒の割合は、男子が大阪市12.1%(全国9.4%)、女子が大阪市27.6%(全国21.3%)と示されている。本校でも運動時間の少ない層への働きかけが今後の重要な課題である。授業での運動量確保に加え、日常的に体を動かす習慣づくりを進め、「好き」という気持ちを実際の行動につなげ、体力合計点の向上を目指していきたい。

保健体育の授業について(男子)

本校の特徴的な結果

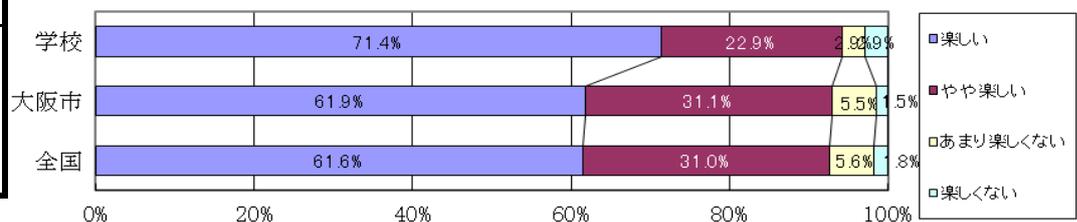
検証項目1

どんなときに保健体育の授業が楽しいと感じますか。
【体を動かしてスッキリした気分になったとき】



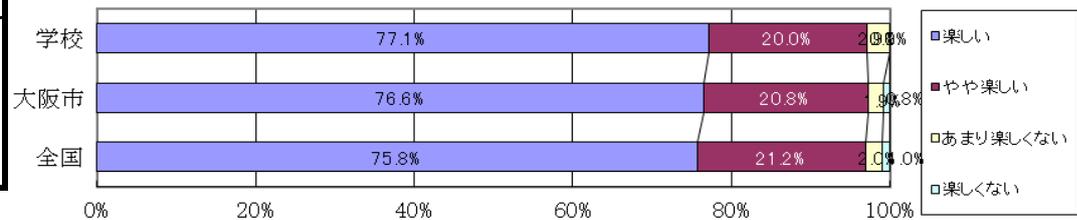
検証項目2

どんなときに保健体育の授業が楽しいと感じますか。
【いろいろな種目を体験したとき】



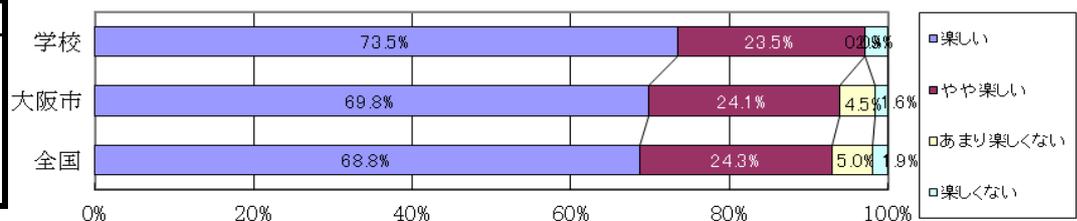
検証項目3

どんなときに保健体育の授業が楽しいと感じますか。
【できなかったことができるようになったとき】



検証項目4

どんなときに保健体育の授業が楽しいと感じますか。
【記録に挑戦したり、記録があがったり、競い合ったりしたとき】



成果と課題

検証項目3の「できなかったことができるようになったとき」は「楽しい」と答えた77.1%と高く、達成感を重視した授業づくりの成果が見られる。また検証項目2の「いろいろな種目を体験したとき」も「楽しい」と答えた生徒の割合も市・全国を上回っている。一方、検証項目1「体を動かしてスッキリした気分になったとき」は「楽しい」と回答した生徒の割合が市・全国より低く、運動量や爽快感の実感に課題がある。

今後の取組

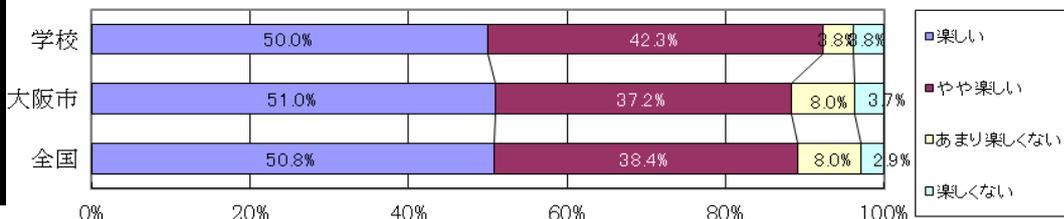
技能向上や達成感を味わえる指導を継続しつつ、運動量の確保やテンポの良い展開を工夫する。ウォーミングアップやゲーム形式の時間を充実させ、体を動かす心地よさを実感させる授業改善を進める。

保健体育の授業について(女子)

本校の特徴的な結果

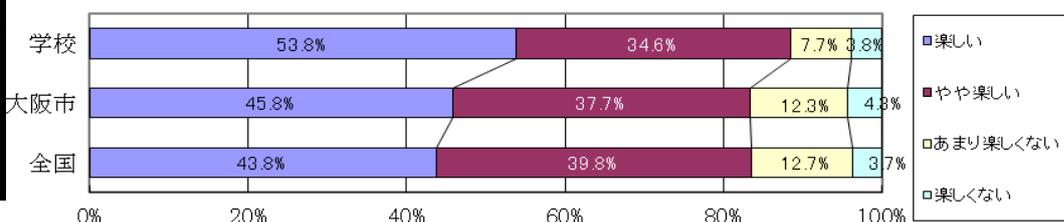
検証項目1

どんなときに保健体育の授業が楽しいと感じますか。
【体を動かしてすっきりした気分になったとき】



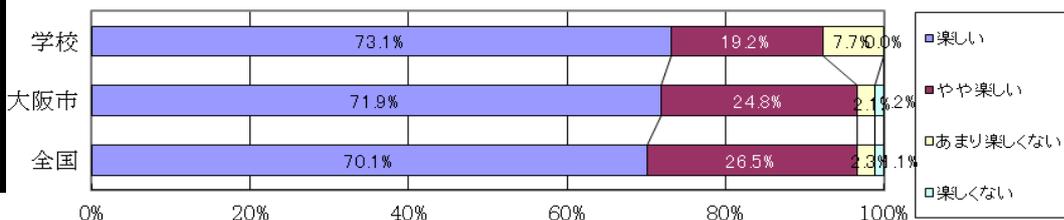
検証項目2

どんなときに保健体育の授業が楽しいと感じますか。
【いろんな種目を体験したとき】



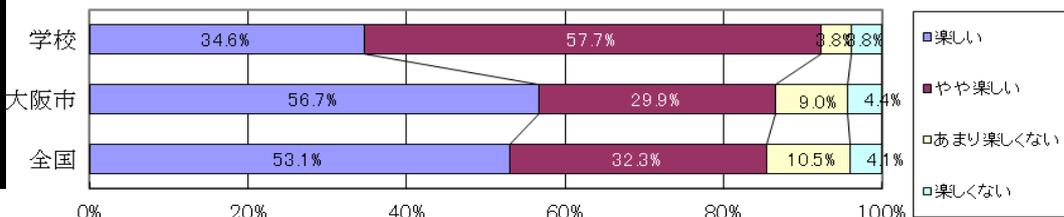
検証項目3

どんなときに保健体育の授業が楽しいと感じますか。
【できなかったことができるようになったとき】



検証項目4

どんなときに保健体育の授業が楽しいと感じますか。
【記録に挑戦したり、記録があがったり、競い合ったりしたとき】



成果と課題

検証項目3の「できなかったことができるようになったとき」の「楽しい」と回答した生徒の割合は73.1%と市・全国を上回り成果が見られる。また検証項目2の「いろんな種目を体験したとき」も「楽しい」と回答した生徒の割合が比較的高い。一方、検証項目4の「記録に挑戦したり、記録があがったり、競い合ったりしたとき」では「楽しい」と回答した生徒の割合が市・全国より低く、競争的場面への前向きさに課題が見られる。

今後の取組

達成感を大切にしたい指導を継続し、個人内評価やスモールステップでの成功体験を積み重ねる。また、ペアやグループで協力する活動を増やし、安心して挑戦できる環境を整え、競争への抵抗感を和らげていく。